

# (株)ルートレック・ネットワークスの事業参入計画の概要

ネットワーク監視を主な事業とする(株)ルートレック・ネットワークスが、IoT技術を活用したパイプハウス向け養液土耕自動化システム「ゼロアグリ」を開発。

## 【良質かつ低廉な農業資材の供給目標】

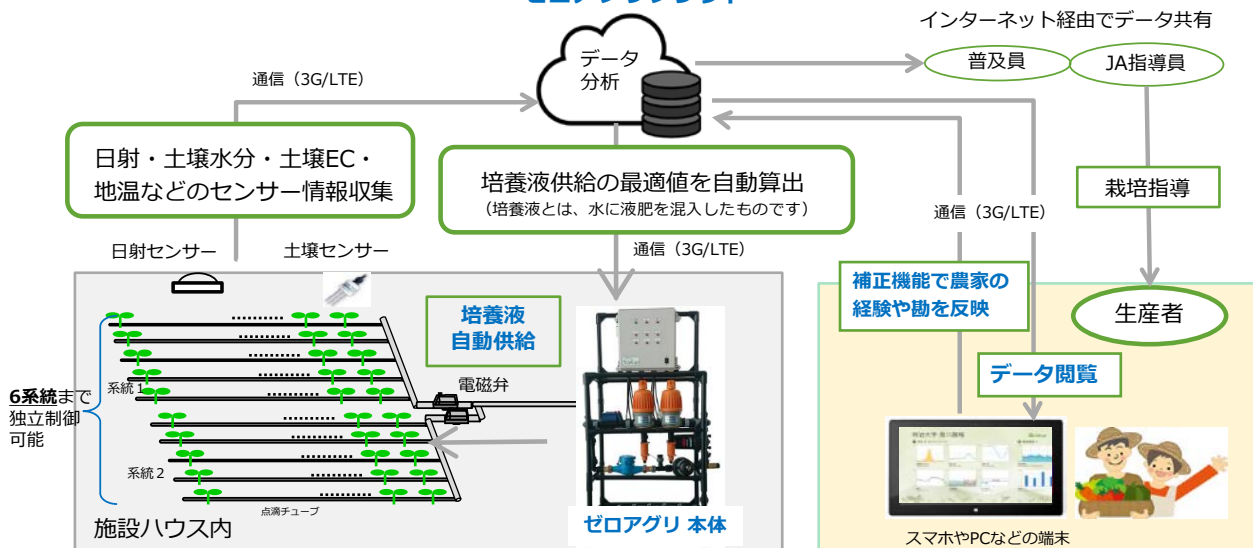
日射センサーや土壌センサーの情報を基に培養液(水+液肥)を高度に管理し、あらかじめ設定した条件となるよう自動で施用することで、労働時間を削減しつつ収量を向上し、収量当たりの生産コストを低減。

また、代理店を通じた販路を拡大するとともに、毎月の利用料のみで導入が可能な定額サービスを導入すること等により販売促進を図り、令和7年4月末までに累計導入台数1,800台を目指す。

## システム概要

- あらかじめ生産者が設定した土壌水分量・土壌の養分濃度となるよう、日射センサー及び土壌センサーで測定したデータに基づき、土壌環境に応じたかん水量・培養液濃度をシステムが算出し、自動で培養液を供給。
- 生産者の設定値等はクラウドを介してデータ共有できるため、普及組織等が生産者に対して的確で迅速な栽培指導を行うことも可能。

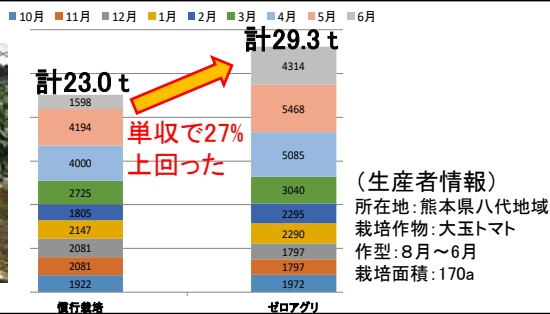
### ゼロアグリクラウド



## 実証効果

- トマトの慣行栽培(※)を行う熟練農家の単収を、ゼロアグリを利用した若手農家が27%上回り、かん水と施肥に要する労働時間も9割削減。

(※)かん水: 手動バルブ開閉  
施肥: 固形肥料の基肥施用と追肥



## 事業参入計画の主な内容

【対象事業】  
農業用機械製造事業

【計画の実施時期】  
令和2年5月~令和7年4月